

— そうですね。でも最初に彼は「iPad miniの修理はできないって言っていたんですけど、二見さんがやってみたらできたんですよ。かなり細かい作業なので、コソがいるんですね」と。や見え、二見さん、カリスマを超えてやつたんですね？！すごいじゃないですか！修理時間も早いんですね？

— 「ガラス割れだけだと思ってた！水没は、どうやって直すんですか？」

— 「基板がショートしちゃってる場合はそれを取り除いて壊れたバーツを交換します。今度、ぜひiPhoneを水に落として持ってきてください。直しますから。ただ、iPhone 5だけは生産が追いついていないみたいで、いまはどこも修理できませんよ。」

— 「そうなんだと。4とか4Sだと、「ホームボタンが使えなくなつた人とか時計もすごいですもんね？」

— 「iPhoneにLCDを組み込んだり、時計をデコレーションしたりとか、こういったこともできますので。飲み屋でモテますよ（笑）。」



今月のひとこと

iPad mini、直ってよかった！修理のカリスマの話は面白かったな～。修理はすごく細かい作業で、覚えられないし、やろうとも思わないですね！（笑）iPhoneも割らないように気をつけなきゃ。この連載も今回で最終回。残念だけど楽しかったです。ありがとうございました！

お笑いコンビ「エレキコミック」のボケ担当。TBSラジオ「JUNKサタデー エレ片のコト太郎」（毎週土曜日、25:00～27:00）、NOTTV「#エンダン」（月～金、23:15～24:15）が放送中。「13年6月22日に「Shibuya O-EAST」をはじめ全9会場をジャックする「YATSUI FESTIVAL 2013」を開催する（http://elecomi.com/）

— 「iPad miniのパネルは内側がプラスチックで表面のガラスがとても薄いんです。なので、iPhoneなんかと比べても割れやすいと思います。あ、内側のプラスチックは割れてないんだ。だから飛び散らずに、こんな風に割れるんだ。そもそも修理方法ってどうやって覚えたんですか？」

— 「修理のカリスマがいるんですよ。中国人みたいな日本人なんですね。」

— 「ははは！ プラモの達人みたいな！」

— 「うちの会社は修理の技術を持っていて、ここのようなお店を開業したい人のサポートもしています。最初はカリスマと呼ばれる人から学んで、いまは僕たちも教える側なんですけど。もともと中国でそういうビジネスがあった、日本でもiPhoneが普及し始めたので、修理の店がたくさん出てきましたよね。」

— 「修理方法をこうやって見せちゃつてもいいんですか？」（笑）

— 「大丈夫ですよ。まず部品の調達が難しいですからね。中国の深圳という場所で買っているんですが、ルートとか、安く買うつてことも必要なので。へへ、面白いな！ やっぱり中国で買うんだ。そのカリスマの方は、めちゃくちゃうまいんですか？」



エレキコミックやついいちろうの 林檎芸人の道

せっかくもらったiPad miniをいつの間にか割ってしまったというやついさん。今回は「iPhone Quick」渋谷店にお邪魔して、原田さんと二見さんに修理の様子を見せていただきました。これでiPad miniをもっと使いこなすぞ！ と言いたいのですが、今回で本連載は最終回をを迎えます。約2年間ご愛読いただき、ありがとうございました！

写真：今井宏昭

まめ知識 「iPhone Quick」渋谷店では、液晶パネル交換修理の場合、4は6600円、4Sは7700円、iPad miniは1万3800円。iPad miniの修理は、渋谷店と横浜本店のみ対応。また上記料金に別途作業料が必要で、作業料は各店舗ごとに異なる

今月のお題 「iPad miniの修理の過程を確認せよ！」

iPhone Quick 渋谷店

住所：東京都渋谷区道玄坂2-29-18
才藤第二ビル6階
TEL：03-6416-1272
営業時間：12:00～翌5:00
URL：http://iphonequick.com/